

間接照明ユニット「N-PITA(エヌピタ)」
BIM データ掲載 1 ヶ月間で世界 93 カ国、765 ダウンロードを達成
～BIM データ掲載で広がる、メーカーによる海外進出の可能性～

野原産業株式会社(本社：東京都新宿区、代表取締役社長：村田 孝幸)および BIMobject Japan 株式会社(本社：東京都新宿区、代表取締役社長：東 政宏)は、2020年1月22日に間接照明ユニット「N-PITA(エヌピタ)」(野原産業オリジナル製品)の BIM データを BIMobject®に掲載しました。掲載 24 時間以内に世界で 80 ダウンロード、200 表示され、2月20日時点では世界 93 カ国で 765 ダウンロード、1681 表示を達成(注1)。BIMobject®への自社製品 BIM データの掲載が、短時間でワールドワイドに自社製品を知ってもらう機会に繋がることがわかりました。(BIM に関する用語説明は別紙 2 を参照)



■左：N-PITA(チャンネルタイプ)の BIM データ掲載ページ、右上：世界でのダウンロード分布、右下：最多ダウンロードエリアの拡大

現場をラクにする、「N-PITA(エヌピタ)」の概要

壁や天井材に多用される石膏ボードを成型し、スチールチャンネルや極薄の亜鉛鉄板と組み合わせてパッケージ化しているので、現場での取付けはビス留めだけの簡単施工で、間接照明の土台が完成します。

- 【仕様】別紙 1 を参照
- 【製造発売】野原産業株式会社
- 【問合せ先】野原産業株式会社 首都圏第一ブロック
 (担当：高橋(拓)、佐倉、工藤)
 TEL：03-3355-4198 / 03-6316-3695



【N-PITA(エヌピタ)の BIM データページ URL】

▼チャンネルタイプ：強度があり、比較的大きい形状に対応(イメージ画像：上)
<https://www.bimobject.com/ja/nohara-holdings/product/n-pita-channel>

▼スチールタイプ：厚みが薄く、意匠性アップに対応(イメージ画像：下)
<https://www.bimobject.com/ja/nohara-holdings/product/n-pita-steel>



(注1) プレビューやダウンロードについて、身近な例で置き換えると、「コンビニに行き(BIM ライブラリーサイトを訪れ)、商品棚にある商品から(サイトに掲載されている BIM データから)、いくつか気になる商品を手に取り(プレビュー表示させ)、比較検討し、買い物カゴに入れる(ダウンロードする)」ことを意味します。

BIM データ掲載で広がる、メーカーによる海外進出の可能性

BIMObject®は、世界の建設資材や設備等のメーカー製品の BIM コンテンツ(製品のデジタルデータ)を掲載する世界最大のプラットフォームです。世界の登録会員数(建築家、エンジニア、設計者などの BIM ユーザー)は 170 万人で、BIM を使った 3D 設計など、三次元で建設プロジェクトのプロセス管理を効率的に行う手法の一つとして、使用頻度の高い建材等の BIM オブジェクトデータを提供しています。

「N-PITA(エヌピタ)」は国内向け製品ではありますが(別紙参照)、BIMObject®への BIM データ掲載 24 時間以内に世界で 80 ダウンロード、200 表示され、2 月 20 日時点では世界 93 カ国で 765 ダウンロード、1681 表示されています。



急速に進行するデジタル経済において、BIMObject®は、自社製品のデジタル上の存在価値を高め、世界規模の新たな市場ニーズを発見できるデジタルマーケティングプレイスとして、建材メーカーの次なる新営業手法になり得ます。

BIM はメーカーの次世代営業ツール ～デジタルの力をグローバル戦略に利活用～

BIM(ビム/Building Information Modeling の略)は、3D の建築モデルを使って建設プロジェクトにおける設計情報と建材や設備の属性情報を一つのデータに集約管理するソリューションです。そして、BIM が一般的となっている欧米では、BIM 自体がメーカーの新たなマーケティングプレイスとなっています。

なぜなら、建設プロジェクトの前段階(フロント)である設計工程で BIM の設計図面に自社製品の BIM データが盛り込まれることは、建材メーカーにとって、自社製品採用の可能性が高まると言われているからです。

私たち国内メーカーも、BIM で自社製品を表現し、デジタル経済に流通させないと、リアルな市場でのシェア拡大が難しくなると推測されます。



<BIMObject の特長と営業での 5 つのメリット>

BIMObject®の特長	BIMObject®への掲載によるメリット
1.365 日、24 時間、どこからでも閲覧可能 BIMObject®の登録ユーザーの多くは設計事務所、建設会社の設計士やエンジニアです。	24 時間世界中の BIM ユーザーにアプローチ 言語の不安なく、時差を気にすることもなく、WEB 上で効率的な営業活動ができます。
2.主要な BIM/CAD ソフトと直接つながれるアプリを無料配布 BIMObject® Apps を使えば、登録ユーザーは、自身がお使いのソフトから BIMObject®に掲載されている BIM データを必要なときに直接ダウンロードし設計中のモデルに落とし込むことができます。	BIM ユーザーへのタイムリーなスペック活動 登録ユーザーの BIM/CAD ソフト画面上で、時機を得た自社製品のスペック活動ができ、自社製品が採用される可能性を高められます。
3.SNS や EC サイトとの連動も簡単 自社製品の BIM データ URL を使えば簡単にリンクできます。	越境 EC でラクに市場開拓 現地法人がなくても、越境 EC(EC を使った国内から海外への自社製品販売)も見込めます。
4.徹底した情報の一元管理 公開 API (Application Programming Interface) を使い、BIMObject®上で SSoT(Single Source of Truth/信頼できる唯一の情報源)を実現し、情報を一元管理。様々な WEB サイト(EC を含む)、AR・VR との連携もスムーズです。	自社製品情報の更新がラク BIMObject®上のデータを更新するだけで、連携された WEB サイトにも反映され、転載サイトごとの更新作業が不要、かつ漏れなく、ラクに情報管理ができます。
5.詳細な顧客情報が世界中から集約 BIMAnalytics®を活用することで、BIM データをダウンロードしたユーザーを識別することができます。	世界規模のデジタルマーケティングが瞬時に SNS や EC サイトに BIM データを拡張利用した場合でも、ダウンロード数、場所を追跡することができ、有望な見込み客にアプローチしやすくなります。

<メーカーのグローバル戦略上での BIM の使い方_簡単 3 ステップ>

BIMobject®への自社製品掲載を建材メーカーの次なる新営業手法として使うステップは次表の通りです。

STEP1.	自社製品の BIM データを BIMobject®に掲載(注2) ユーザーによる BIM オブジェクトデータのダウンロード
STEP2.	世界中から大量に集まった、ユーザーデータ(いつどこでダウンロードしたかなど)を確認
STEP3.	分析ツール(BIManalytics®)を利用して、最適なマーケット及び顧客分析を実施
効率的にタイムリー、かつ確信をもって、見込客に接触 世界の複数市場を視野に、最低限の人員とコストでグローバル戦略を効果的に展開	

なお、BIMobject Japan では、詳細をまとめた BIM マーケティングのサポートブックを無料配布中です(注3)。

【サポートブックのお申込み】以下の URL よりお申込みください。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScFT0-TukP6-htOmThQYSx98ZQxJD31Dja4DqQ2U5bC1DKzbQ/viewform>

(注2)建材メーカー向け BIM データ掲載トライアルキャンペーンを実施中です。お申込み期限は 2020 年 3 月 31 日です。

<https://www.nohara-inc.co.jp/topics/tabid/96/Default.aspx?itemid=310&dispmid=435>

(注3)サポートブックについては、以下の URL よりご確認ください。

<https://www.nohara-inc.co.jp/topics/tabid/96/Default.aspx?itemid=310&dispmid=435>

野原産業株式会社について

野原産業株式会社は、約 1,000 社のメーカー様の多岐にわたる数万点もの商品を販売する総合商社です。内装建材業界のリーディングカンパニーとして、全国 8 カ所で「野原装栄会」を運営し、各地の事業拠点とお客様のネットワークを構築し、各種情報のご提供や新商材・新工法のご提案により、お客様の事業領域の拡大に貢献してまいります。

【会社概要】

本社：東京都新宿区新宿 1-1-11

資本金：1 億円

代表取締役社長：村田 孝幸



BIMobject Japan 株式会社について

建設業を主要事業とする野原グループは、イノベーション・デジタルライゼーション・グローバルイゼーションをビジョンに掲げております。

2017 年 12 月、建設に関わる諸情報をデジタル化し国内における BIM 活用をサポートする目的で誕生したのが BIMobject Japan 株式会社です。BIMobject Japan は、BIMobject 社が世界をリードしてきたテクノロジーと、野原グループが 1947 年の創立以来(創業 1598 年)、日本の建設文化に貢献し得られた信用・信頼を融合させ、国内建設業界の重要なデジタル情報の集まるプラットフォームを目指します。

私たちは、建物のライフサイクルマネジメントにおいて重要な情報元となる建設資材や設備等のメーカー製品情報のデジタル化を事業の根幹とし、BIMobject 社のグローバルな、先進的で拡張性のあるクラウドソリューションを通じ、日本における建設情報のデジタル化と情報価値の最大化に貢献します。

同時に、日本企業のグローバルデジタルマーケティングを支援し、優れた製品をデジタルデータとしてスピーディに全世界にお届けします。

【BIMobject®公式サイト】 <https://bimobject.com/ja>



【会社概要】

本社：東京都新宿区新宿 1-1-11

資本金：274,214,025 円

代表取締役社長：東政宏

【N-PITA(エヌピタ)に関する問合せ先】

野原産業株式会社 首都圏第一ブロック(担当：高橋(拓)、佐倉、工藤)

TEL：03-3355-4198 / 03-6316-3695

【BIMobject®に関する問合せ先】

BIMobject Japan 株式会社

メール：japan@bimobject.com

【本リリースに関する問合せ先】

野原ホールディングス株式会社 社長室(担当：齋藤、青木)

TEL：03-6328-1576